

図画工作

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	図工 101・102 301・302 501・502	A4 336	平成31年
116	日本文教出版	日 文◆	図工 103・104 303・304 503・504	A4 386	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者
12冊	開隆堂、日文

2 学習指導要領における教科・学年の目標等

【図画工作科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年の目標】

〔第1・2学年〕

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

〔第3・4学年〕

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

〔第5・6学年〕

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

【参考：小学校学習指導要領解説図画工作編「第1章 総説 2 図画工作科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

(1) 改訂の趣旨

- ・表現及び鑑賞の活動を通して、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを一層重視し、目標及び内容を改善・充実する。
- ・造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させながら育成できるように、目標及び内容を改善・充実する。

(2) 改訂の要点

ア 教科の目標

- ・生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を一層重視することを示す。
- ・育成を目指す資質・能力の三つの柱のそれぞれに「創造」を位置付け、図画工作科の学習が造形的な創造活動を目指していることを示す。

イ 鑑賞領域の改善

- ・第5学年及び第6学年の鑑賞の対象に「生活の中の造形」を位置付け、生活を楽しく豊かにする形や色などについての学習を深めることができるようにする。

ウ [共通事項] の改善

- ・表現及び鑑賞の活動において共通に必要な資質・能力である[共通事項]を、「知識」と「思考力、判断力、表現力等」の観点から整理して示す。
- ・[共通事項] (1)「ア 自分の感覚や行為を基に、形や色などの造形的な特徴を理解すること。」などを「知識」、[共通事項] (1)「イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。」などを「思考力、判断力、表現力等」として位置付ける。
- ・「知識」についての配慮事項の明示として、内容の取扱いに、[共通事項] (1)アの指導に当たっての配慮事項を示す。

【参考：小学校学習指導要領解説図画工作編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」から（抜粋）】

「2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」

- (4) 各学年の「A表現」の指導に当たっては、活動の全過程を通して児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるようにし、自分のよさや可能性を見だし、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにすること。
- (10) コンピュータ、カメラなどの情報機器を利用することについては、表現や鑑賞の活動で使う用具の一つとして扱うとともに、必要性を十分に検討して利用すること。
- (11) 創造することの価値に気付き、自分たちの作品や美術作品などに表れている創造性を大切にすることを養うようにすること。また、こうした態度を養うことが、美術文化の継承、発展、創造を支えていることについて理解する素地となるよう配慮すること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 「表現」の内容別題材数	各学年の目標	個 %
b 「鑑賞」の題材数		個
c 「鑑賞」学習用の資料のページ数		ページ
d 作品等の数		個
e 表現・鑑賞活動の過程、表現技法、材料、用具の扱いについて具体的に示した箇所のあるページ数		ページ
f 児童が、形や色などの造形的な特徴をとらえたり考えたりすることを具体的に示した箇所のあるページ数	小学校学習指導要領解説図画工作編「第3章 各学年の目標及び内容」各学年の[共通事項]	ページ
g 児童が、自分のイメージをもつことを具体的に示した箇所のあるページ数		ページ

イ 調査項目の具体的な内容

- ① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項（調査結果は「別紙2」）
 - a 「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表わす活動」「工作に表わす活動」「共同し

てつくりだす活動」の内容

- b 「鑑賞」題材の内容
- c 「鑑賞」学習用の資料のページの内容

② 調査対象事項を設定した理由等

図画工作科の目標として、「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力」を育成することが示されていることから、「表現」及び「鑑賞」の領域における活動の内容や対象等を調査することとした。

(a、b、c)

③ 調査研究の方法

a、b、cそれぞれの事項について、具体的に記載されている内容を分類・整理する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について、箇条書きで記載する。

- ア 目次
- イ 冊子のつくり、教材配列
- ウ 表記、表現
- エ 表紙・裏表紙
- オ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- カ ユニバーサルデザインの視点
- キ デジタルコンテンツの扱い
- ク その他

「別紙1」【(1)内容ア 調査研究の総括表】(小学校 図画工作)

項目	a 「表現」の内容別題材数				c 「鑑賞」学習用の資料のページ数	d 作品等の数			e 表現・鑑賞活動の過程、表現技法、示した箇所のあるページ数	f 児童が、形や色などの造形的な特徴を示したり考えたりすることを具体的に示した箇所のあるページ数	g 児童が、自分のイメージをもつことを具体的に示した箇所のあるページ数	
	造形遊びをする活動	絵や立体、工作に表す活動		共同してつくりだす活動		児童作品や児童の活動の様子	美術作品	生活や社会の中の形や色				計
発行者												
開隆堂	16 13.4%	49 41.2%	13 10.9%	41 34.5%	16	1370	44	109	1523	182	69	58
日文	23 18.7%	44 35.8%	26 21.1%	30 24.4%	8	1650	73	247	1970	266	162	152
平均値	19.5 16.1%	46.5 38.4%	19.5 16.1%	35.5 29.3%	12.0	1510.0	58.5	178.0	1746.5	224.0	115.5	105.0

表の中の「平均値」については、小数第2位を四捨五入した。また、%の数値についても、小数第2位を四捨五入した。

【別紙2】 【(1) 内容イ 調査項目の具体的な内容】 (小学校 開隆堂) (小学校 開隆堂) (小学校 開隆堂) (小学校 開隆堂)

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
	<p>(上巻) ねんどと なかよし いろいろならべて さらさら だろどろ いいきもち スタンプ、スタンプ!</p>	<p>(上巻) ふわふわ空気のつみ木 あみあみ大きくせん</p>	<p>(上巻) 同じもの、たくさん 地球は大きなキャンバスだ</p>
「造形遊びをする活動」の内容の扱い	<p>(下巻) ねん土が うごき出す！ 新聞紙と あそぼう 見つけたよ、わたしの 色水 しぜんからの おくりもので</p>	<p>(下巻) つながれ、広がれ！だんボール わくわくネイチャーランド</p>	<p>(下巻) 入り口の向こうには 学校へようこそ</p>
a 「表現」の内容の扱い	<p>(上巻) すきなもの いっぱい クレヨンやパスと なかよし ながーい かみから さわって かくの きもちいい！ せんの かんじ いいかんじ はって かさねて ちぎってはって おしらせします！にっこりニュース できたらしいな こんなこと こころの はなを さかせよう</p>	<p>(上巻) 絵の具と水のハーモニー 不思議な乗りもの にじんで広がる色の世界 でこぼこぼさん大集合 未来にタイムスリップ！ さわってわくわく 線と線が集まって</p>	<p>(上巻) 季節を感じて 形を築めて 動きの不思議 わたしの不思議 あつたらしい町、どんな町 進め！ローラー大ぼうけん 色を重ねて広がる形</p>
	<p>(下巻) すきなこと なかに ぼかしあそびで ふしぎな いきもの あらわれた えのぐぐじま 大きいそだて、びっくりやさい いろいろ もよう えのぐをたらした かたちから えのぐひっつばレインボー どうぶつさんと いっしょに あなの むこうは ふしぎな せかい いっばい うつつして</p>	<p>(下巻) 絵の具のぼうけん、たのしさ発見！ 木々を見つめて へんてこ山の物語 何にかこうかな キラキラワールド 学校もりあげマスコット ほって表す不思議な花</p>	<p>(下巻) わたしのお気に入りの場所 いろいろ、いろいろ カッター、ペタッと、すてきな形 時空をこえて みんなのお話、始まるよ 墨から生まれる世界 ひびき合う形と色を求めて</p>
a 「表現」の内容の扱い			

【別紙2】 【(1) 内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 開隆堂】 (小学校 図画工作)

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
a 「表現」の内容の扱い	<p>(上巻) みてみて、いっぱいつくったよ くしくしゃしたら だいへんしん はこと はこを くみあわせて</p>	<p>(上巻) ねん土ランドへようこそ 生まれかわったなかまたち</p>	<p>(上巻) みんなであのしく、「ハイ・ポーズ」 だんボールで、試して、つくって</p>
	<p>(下巻) こんにちは、むぎゆたん すけるん たんじょう</p>	<p>(下巻) つけて、のぼして、生まれる形 どろどろカッチン</p>	<p>(下巻) 今の気持ちの形に バランス・アンバランス</p>
	<p>(上巻) チヨッキン パックで かざろう うきうきボックス ひらめきコーナー ふわふわ ゴー あそぼうよ、パクパクさん ひかりの くのにの なかまたち</p>	<p>(上巻) ふくろの中には、何が つらめきコーナー つかってたのしいカラフルねん土 光サンドイッチ トントンくぎ打ち、コンコンビー玉 のこぎりひいてザク、ザク、ザク へん身だんボール みんなでおん・ステージ</p>	<p>(上巻) 糸のこの寄り道散歩 ひらめきコーナー 見つけて！ワイヤードリーム コロがるくんの旅 Myキヤラが動き出す そっと見てね、ひみつの景色</p>
a 「表現」の内容の扱い	<p>(下巻) みんなで ワイワイ! 紙けん玉 ひらめきコーナー くつつき マスコット のりのり おはながみで めざせ! カッターナイフの名人 まどのある たてもの かぶって へんしん</p>	<p>(下巻) つないで組んで、すてきな形 ひらめきコーナー かみわざ! 小物入れ 本から飛び出した物語 飛び出すハッピーカード つくって、つかって、たのしんで トントンつないで ゆめいろらんぶ</p>	<p>(下巻) 木と金属でチャレンジ ひらめきコーナー ゆらゆら、どきどき きらめき劇場 わたしたちはサイナー 12さいのカデ 夢の新製品</p>

【別紙2】 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 開隆堂】 (小学校 図画工作)

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
a 「表現」の内容の扱い	<p>(上巻) スタンプ、スタンプ! こころの はなを さかせよう</p>	<p>(上巻) ねん土 ランドン へようこそ あみあみ 天さくせん トントン くぎ打ち、コンコン ビー玉 みんな で オン・ステージ</p>	<p>(上巻) 同じもの、たくさん 地球は大きな キャンバスだ My キヤラ が動き出す</p>
	<p>(下巻) 見つけたよ、わたしの 色水</p>	<p>(下巻) つな がれ、広 がれ! だんボール わくわく ネイチャ ラララ ド</p>	<p>(下巻) 入り口の 向こう には きらめき 劇場 みんな の お話、始まるよ 学校 へようこそ</p>
b 「鑑賞」の内容の扱い	<p>(上巻) みて、さわって、かんじて</p>	<p>(上巻) 集めて、ならべて マイコレクション</p>	<p>(上巻) 比べて みよう</p>
	<p>(下巻) へんしん しよう</p>	<p>(下巻) 絵から 聞こえる 音</p>	<p>(下巻) 龍を 見る</p>

「別紙2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 開隆堂】 (小学校 図画工作)

	第1、2学年	第3、4学年	第5、6学年
<p>○ 「鑑賞」の内容の扱い</p>	<p>(上巻) わくわくするね (P 6～7) みんなのギヤラリー (P 48～49)</p>	<p>(上巻) みんなのギヤラリー (P 48～49) 学びの資料 (P 56～57)</p>	<p>(上巻) 心をひらいて (P 6～7) つながる造形 (P 44～47) みんなのギヤラリー (P 48～49) 学びの資料 (P 56～57)</p>
<p>「鑑賞」学習用の資料のページの内容の扱い</p>	<p>(下巻) みつけたよ (P 6～7) みんなのギヤラリー (P 48～49)</p>	<p>(下巻) 力を合わせて (P 6～7) みんなのギヤラリー (P 48～49)</p>	<p>(下巻) つながる思い (P 6～7) つながる造形 (P 44～47) みんなのギヤラリー (P 48～49)</p>

「別紙2」 【(1) 内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 日文】 (小学校 図画工作)

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
	(上巻)	(上巻) めのだつないで クミハミひらくと クミミミツクス ねんえマイタウン	(上巻)
a 「表現」の内容の扱い	(下巻) わくわく おはなしゲーム	(下巻) ここにいたい ようこそ！ゆめのまちへ	(下巻) ドリーム・プロジェクト
b 「鑑賞」の内容の扱い	(上巻) でこぼこ はっけん！ すきまちゃんの すきな すきま	(上巻) み近なしげんの形・色	(上巻) カードを使って 水から発見 ここきれい！
	(下巻) いろの 風えかた むげん大 ともだち 風つけた！	(下巻) 色合いひびき合い ポーズのひみつ	(下巻) この筆あと、どんな空？ わたしの感じる和
c 「鑑賞」の内容の扱い	(上巻) いままでどんなことしてきたのかな。これからどんなことしたいかな。(P2～3) きょうかしよ びじゆつかん(P4～6) たのしいな おもしろいな(P7) ひらめき ポケット(P36～37)	(上巻) 教科書びじゆつかん(P2～4) ためしたよ 風つけたよ(P5) ひらめきポケット(P34～35) 図画工作の つながり ひろがり(P56～57)	(上巻) 教科書美術館(P2～4) 風つめて 広げて(P5) ひらめきポケット(P34～35) 図画工作の つながり ひろがり(P36～37) 図画工作の つながり ひろがり(P54～55) 図画工作の つながり ひろがり(P56～57)
	(下巻) きょうかしよ びじゆつかん(P2～4) たのしいな おもしろいな(P5) ひらめき ポケット(P34～35) ずがこうさくの つながり ひろがり(P56～57)	(下巻) 教科書美術館(P2～4) ためしたよ 風つけたよ(P5) ひらめきポケット(P34～35) 図画工作の つながり ひろがり(P56～57)	(下巻) 教科書美術館(P2～4) 風つめて 広げて(P5) ひらめきポケット(P34～35) 図画工作の つながり ひろがり(P36～37) 図画工作の つながり ひろがり(P52～53) 図画工作の つながり ひろがり(P54～55) 中学生になるあなたへ(P64～65)
	(上巻) 「表現」してつくりだす活動」の内容の扱い		
	(上巻) 「鑑賞」題材の内容の扱い		
	(上巻) 「鑑賞」学習用の資料のページの扱い		

「別紙3」 【(2) 構成上の工夫】 (小学校 図画工作)

	<p>7 目次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育てたい資質・能力を1年間で系統的に育成できるよう、題材を配列している。 ・題材ごとに、育成する資質・能力について、重点を置くものを明らかにマークしている。 ・各ページで記すマークを説明している。(題材の内容、題材で使うもの、安全指導、片付けについて、他教科の内容に関わること、二次元コード) 	<p>イ 冊子のつくり、教材配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、育成する三つの資質・能力について具体的に表記する点とともに、各題材で特に重点を置くものには、下線を引き、色を覚えて表記している。 ・左ページの下の、図画工作で使用する色や道具などの言葉を英語で紹介している。 ・題材ごとに「学習のめあて」が示され、各ページの下に、「ふりかえり」項目があり、自己評価ができるようになっている。 ・各ページの下に、道具の扱いや表現技法等について、参照ページを記載している。 ・巻末に、「学びの資料」(発想・構想につながる)、「造形の引き出し」(知識・技能に関する)の内容の資料ページを掲載している。 	<p>ウ 表記、表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の中で、育成したい三つの資質・能力に対応したキャラクターを示し、学習のヒントを投げ掛けている。 ・児童の作品について、制作する際にとどのような思いでつくったか、工夫したところ等を本人の言葉で紹介している。 	<p>エ 表紙・裏表紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙で児童の作品を使用し、裏表紙に作品の紹介がある。 ・各学年で、扱う材料を使用し作成された題字が示されている。 ・裏表紙に、保護者に向けて、本教科で育成する資質・能力の意義が記載されている。 	<p>オ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてが明確に提示され、題材の末尾には、児童自身が表示や鑑賞の学習を通じて培ったことが確認できるように「ふりかえり」のページを設定している。 ・共同で行う活動や対話的な活動を履取取り入れ、その活動(場面)の様子が分かる写真を掲載している。 ・学習のめあてに示した、育たたい三つの資質・能力をそれぞれキャラクターで示し、特に各題材で培いたい中心的な目標に対しては、対応するキャラクターが学習のヒントを投げ掛け、学習を深められるようになっている。 ・鑑賞の活動で話合いの場面を多く紹介したり、話し合いの仕方を提示したりする資料ページを掲載している。 	<p>カ ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<p>キ デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの活用事例を紹介している。 ・プログラミング教育を踏まえた事例を紹介している。 ・二次元コードにより、関連資料が閲覧できるような工夫をしている。 	<p>ク その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全や片付けについて児童が意識できるように、囲みや写真等を使用して強調している。 ・オリンピック・パラリンピックを意識した題材を紹介している。 ・カリキュラムマネジメントの視点から、各題材ごとに紹介ページの下の、関連教科の記載がある。 ・幼稚園(保育園)や中学校との接続を意識した活動を紹介している。 ・地域の伝統文化や材料等を取り上げ、郷土愛を育むとともに、図画工作科で学んだことが地域や社会に関わることを提示している。
<p>日文</p>	<p>・保護者に向けて、本教科で育成する資質・能力の意義が記載されている。 ・教科書の使い方を提示している。 ・各ページで記すマークを説明している。(題材の内容、題材で使うもの、パソコンやインターネットの活用、道徳とのつながり、見るとのヒント) </p>	<p>・題材ごとに、育成する三つの資質・能力について具体的に表記し、各資質・能力ごとにマークを定め、提示している。 ・各ページの下に、道具の扱いや表現技法等について、参照ページを記載している。 ・題材の全てに、最後のページの下に「きをつけよう」、「かたづけの欄を設け、安全に配慮しながら活動し、片付けを行うことを示している。 ・題材ごとに、活動の過程が分かる写真と、それぞれの場合で何を意識するかが分かる児童のつぶやき等を対で掲載している。 ・巻末に、「使ってみよう材料と用具」(思いを形にする技能を育てる)、「ひらめきポケット」(見方・考え方を働かせるきっかけ)、「図画工作のつながりがりがり」(社会に開かれた教育課程の実現に向けて)、「教科書美術館」(対話で広がる学び)を掲載している。 </p>	<p>・キャラクターが、造形的な見方・考え方を意識させ、気付きを促すつぶやきをしている。 ・児童の活動の様子に分かる写真には、気付きや理解、イメージをもつ過程、思いや色を具体的に表記している。 ・題材の目標に対して(何を学ぶのか)、学んでいる児童の具体的な姿を掲載している。 ・作品紹介文には、表現するまでの過程や思い、工夫したこと等を児童の言葉で紹介している。 </p>	<p>・表紙で児童の作品を使用し、裏表紙に作品の紹介がある。 ・各学年で、扱う描画材や表現技法を用いて描かれている作品を「形や色を楽しむ」「欄を設け、形や色の知識を学ぶことができる。」 </p>	<p>・活動のヒントになる写真を掲載している。 ・材料を扱い、試行錯誤しながらやりたいたいことを見付けるヒントとなる過程の写真を多く掲載している。 ・能動的な鑑賞につながるような、身の回りがある、「きれい」「面白い」と感じる図版が多く掲載されている(生活や社会の中、身の回りがあるものに目が向く写真)。 ①学習を見通す／振り返る場面 ②友だちと対話する場面 ③児童が考える場面／教師が教える場面などにおいて、どのような取り組みがよいかが分かる写真やコメント(児童やキャラクターのつぶやき等)が掲載されている。 </p>	<p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 </p>	<p>・カメラやインターネットの活用事例を紹介している。 </p>	<p>・キャラクターが、造形的な見方・考え方を意識させるつぶやきをしている。 ・他教科等と関連させた題材を第1・2学年(上)の最初、第5・6学年(下)の最後に、幼児期や中学校との接続を意識したページを設定している。 ・児童の実態、学校や地域の特性に応じて実践できる題材の展開を紹介している。 ・学んだことを今後にかす(地域文化・伝統文化、環境、防災・安全、平和・人権・福祉、多文化共生)を設定し、持続可能な学びを意識している。 ・生活や社会と学びをつなぐ視点として、学習の後に家庭と共有したり、地域に伝えたりするなど、地域の方々と協働して学ぶ活動や様子を紹介している。 </p>